

2019 年度日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会 開催要項

1. 目 的

日本スポーツ協会（以下「本会」という。）公認スポーツ指導者制度に基づき、本会公認スポーツドクター及び公認コーチとの緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、外傷・障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション、トレーニング及びコンディショニング等を担当する公認アスレティックトレーナーを養成する。

2. 主 催 公益財団法人日本スポーツ協会

3. カリキュラム

（1）共通科目（150 時間：集合講習及び自宅学習）

※公認スポーツ指導者養成講習会共通科目Ⅲ

1.	グッドコーチ（日本スポーツ協会公認スポーツ指導者）に求められる人間力
2.	グッドコーチに求められる医・科学的知識
3.	現場・環境に応じたコーチング

（2）専門科目（600 時間：集合講習及び自宅学習）

1) アスレティックトレーナーの役割	30h
2) スポーツ科学	120h
3) 運動器の解剖と機能	60h
4) スポーツ外傷・障害の基礎知識	60h
5) 健康管理とスポーツ医学（ドーピングコントロール含む）	30h
6) 検査・測定と評価	60h
7) 予防とコンディショニング	90h
8) アスレティックリハビリテーション	90h
9) 救急処置（各自赤十字救急法救急員の資格を別に取得する）	30h
10) スポーツと栄養	30h

（3）現場実習（180 時間）

1) 見学実習	30h
2) 検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習	30h
3) スポーツ現場実習	30h
4) アスレティックリハビリテーション実習	30h
5) 総合実習	60h

4. 実施方法

(1) 共通科目

- ・事前学習：リファレンスブックによる自宅学習及びeラーニングを用いた知識確認テストを実施する。
- ・集合講習会：2019年7月から11月にかけて、4日間で実施する。
- ・事後学習：リファレンスブック等による振り返り、現場実践を踏まえた課題を提出する。

(2) 専門科目

- ・集合講習会：以下の通り実施する。
 - 1期(2日間：13時間) 2019年11月頃
 - 2期(4日間：29.5時間) 2020年1月頃
 - 3期(5日間：37時間) 2020年4月頃
 - 4期(6日間：51時間) 2020年6月頃
 - 5期(6日間：46.5時間) 2020年10月頃
- ※2019ラグビーワールドカップ、2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、集合講習会の開催日程は変更となる場合がある。
- ※集合講習会は、必ず1期から5期の順で受講しなければならない。
- ※4期講習会受講前に日本赤十字社の救急法救急員養成講習を受講し、検定試験に合格の上、有効期間内の認定証を必ず提出しなければならない。
- ・自宅学習：各自でテキスト及びテキストワークブックを中心に行う。

5. 受講者

(1) 受講条件

受講する年の4月1日現在、満20歳以上の者で、本会、本会加盟団体（都道府県体育・スポーツ協会、中央競技団体等）及び本会が特に認める国内統轄競技団体（以下「加盟団体等」という。）から推薦され、受講者選考基準を満たす者

(2) 受講者数

100名以内

6. 受講申込み

受講希望者は所定の受講希望者経歴書に必要事項を記載し、加盟団体等に提出する。

加盟団体等は、受講者推薦書を作成し本人が記載した受講希望者経歴書とともに本会へ提出する。

7. 受講料 91,800円（消費税込：受講内定時に納入）

<内訳> ・共通科目： 19,440円 ※リファレンスブック代別途3,240円(税込)

・専門科目： 72,360円

※免除・資格審査料等については別に定める。

※実技試験受験料については受験1回ごとに30,000円(税別)を納入する。

詳細は検定試験実施要項で定める。

8. 受講者の内定から決定までの流れ

- (1) 加盟団体等から提出された受講者推薦書及び受講希望者経歴書に基づき、本会指導者育成専門委員会アスレティックトレーナー一部会において活動実績等を審査の上、受講者を内定し、推薦を行った団体及び本人宛に通知する。
- (2) 受講内定者は、所定の受講申込書に必要事項を記入し、受講料を本会に納める。
- (3) 本会において受講料の入金を確認した後、受講者として正式に決定する。

9. 講習・試験の免除

既存資格及び本会免除・適応コースの履修等により、講習・試験の一部又は全部を免除することができる。免除に関する詳細は別に定める。なお、養成講習会受講者は現場実習を免除する。

10. 検定試験・審査

- (1) 共通科目は知識確認テスト及び事後学習の課題提出、専門科目は理論試験及び実技試験を実施する。
- (2) 共通科目における知識確認テストは一定以上の知識を有することを確認し、事後学習後の課題は本会において内容を審査する。
- (3) 専門科目における検定試験は、専門科目講習会を全て受講し、本会の定める救急処置に関する資格を取得している者が受験できる。
- (4) 専門科目における検定試験は、理論試験、実技試験の総合判定とし、本会において審査する。但し、実技試験は理論試験に合格した者が受験することができる。
- (5) 共通科目及び専門科目の全ての検定試験に合格した者を「本会公認アスレティックトレーナー養成講習会修了者」として認める。

11. 登録及び認定

- (1) 共通科目及び専門科目の検定試験に合格した者に修了通知を送付し、その後、登録手続き（登録料の納入等）を完了した者を本会公認アスレティックトレーナーとして認定し、「認定証」及び「登録証」を交付する。
- (2) 資格の有効期間は4年間とし、4年毎に更新する。ただし、本会公認アスレティックトレーナー以外に本会公認スポーツ指導者資格をすでに有している場合、初回の有効期間は、新規認定期日から当該資格の次回更新登録期限までとする（スポーツリーダーは除く）。本資格を更新しようとする者は、更新登録期限の6か月前までに、本会が定める研修を受講するとともに、研修受講時に一次救命処置（心肺蘇生法及びAED）に関する資格認定証を提示しなければならない。

12. 注意事項

- (1) 受講有効期間は、原則として受講開始年度を含め共通科目検定試験及び専門科目理論試験合格まで5年間とし、最終年度の3月31日までとする。また、専門科目実技試

験は専門科目理論試験に合格した後、受講有効期間に関らず2回まで受験することができる。

なお、受講有効期間内に共通科目検定試験及び専門科目理論試験に合格しない場合は、その時点で受講者としての権利をすべて喪失する。

- (2) 本講習会受講に際し取得した個人情報、本講習会受講者の管理及び諸連絡以外には使用しないものとする。
- (3) 本講習会の受講有効期間内に他の本会公認スポーツ指導者養成講習会の受講はできない。また、受講申込時点で他の本会公認スポーツ指導者資格養成講習会の受講有効期間内又は未修了の場合は、本講習会への受講申込はできない。
- (4) 受講者の推薦に際し、加盟団体等は団体内の医科学委員会やアスレティックトレーナー協議会等の意見を十分に聴取した上、アスレティックトレーナーに関する担当委員会等において決定すること。
- (5) 同一人物が同一年度に複数の団体から推薦を受けた場合、一団体からの推薦のみを審査対象とする。なお、いずれの団体からの推薦を受理するかは本会アスレティックトレーナー部会にて決定する。
- (6) 受講申し込みから資格取得までの概要については別紙を参照すること。
- (7) 講習会（共通科目・専門科目）開催にかかる経費については、原則として本会が負担するが、受講者の旅費（宿泊費含む）に関する補助は行わない。
- (8) 受講内定者が受講を辞退した場合、当該推薦団体から追加の内定は行わない。
- (9) 受講者としてふさわしくない行為があったと認められた場合は、本会指導者育成専門委員会及びアスレティックトレーナー部会で審査し受講が取り消される場合がある。
- (10) 本講習会風景の写真等は、日本スポーツ協会ホームページ及びその他関連資料へ掲載する場合がある。
- (11) 天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の日本スポーツ協会が管理できない事由により、講習会内容の一部変更及び中止のために生じた受講者の損害については、日本スポーツ協会ではその責任を負わない。
- (12) 2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、専門科目集合講習会の開催日程は変更となる場合がある。

スポーツと、望む未来へ。



公益財団法人

日本スポーツ協会

JSPPO
Japan Sport Association

スポーツくじ



この講習会は、スポーツ振興くじの助成金を受けて開催されています。

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会受講者選考基準

本会公認アスレティックトレーナー（以下「JSPO-AT」という）養成講習会の受講者選考は、本会指導者育成専門委員会アスレティックトレーナー部会において、以下のとおり選考基準を設けています。

つきましては、下記事項をご留意の上、受講者を推薦いただきますようお願いいたします。

1. 受講者選考基準について

受講希望者経歴書に基づき下記の要点で選考しますので、未記入または記入内容が著しく乏しい場合は、推薦団体に確認することなく無条件で選考対象外としますのでご注意ください。

(1) トレーナーとしてのスポーツ現場における活動実績*

- ①活動年数（2年以上の継続した実績があり、現在も活動をしていること。）
- ②活動内容
- ③活動対象
- ④現在の活動の有無（現在の活動がない場合は選考対象外）

* トレーナーとしてのスポーツ現場における活動実績とは、JSPO-AT の役割にある「競技者の健康管理、外傷・障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション、体力トレーニング、コンディショニング等」のスポーツ現場での複数の活動とする。

従って、単なるトレーニング指導や医療従事者等が自身の生業として病院や施術所等で行う業務、一般人向けの健康指導等はこれにあたらぬ。

【トレーナーとしての実績とはみなさない例】

- 例 1) 病院でスポーツ選手のリハビリテーションを担当している。
- 例 2) 施術所でスポーツ選手の外傷治療を行っている。
- 例 3) 体力トレーニング指導のみを行っている。
- 例 4) フィットネスクラブで健康・体力向上のための運動指導を行っている。

(2) 推薦団体とのこれまでの関わり

- ①推薦団体内でのトレーナーとしての活動実績
- ②国民体育大会を含む国内での活動実績
- ③国際大会での活動実績
- ④推薦中央競技団体に関連した競技・種目でのトレーナー実績（中央競技団体等・プロスポーツ団体推薦者のみ該当）

(3) 資格取得後の推薦団体における活用方法

- ①推薦団体での今後のトレーナーとしての活用方法
- ②推薦団体での国民体育大会や国際大会での活用方法

(4) スポーツ医・科学に関する研修会・セミナー・学会等の参加実績

- ①複数回の参加実績の有無（参加実績がない場合は選考対象外とします）

※参加・受講の機会が一般に開かれているものとし、私的な勉強会は対象外とする。

(5) 現在のトレーナー活動について

- ①現在の活動内容
- ②無資格で医療類似行為をしていないかどうか
- ③具体的な活動内容が詳細に記入されているか
- ④現在トレーナーとして関わっている競技と、推薦団体との関わりや活動実績に整合性があるか

⑤単に自身の生業としての業務でないか

(6) 受講希望者の動機、保有資格

- ①熱意が感じられるか
- ②単に自身の生業のための資格取得ではないか
- ③保有している医療資格やその他トレーナー関連資格はあるか

(7) 過去の受講歴

- ①過去の受講歴（共通科目検定試験、理論試験、実技試験の結果）

(8) 留意事項

- 推薦にあたっては、JSPO-AT に求められる役割・資質等についてふさわしい人物を、推薦団体内のスポーツ医科学委員会やトレーナー部会、都道府県トレーナー協議会またはそれに該当する組織等において決定してください。または、それらの組織の意見を十分に聴取した上で推薦者を決定し、公平性ならびに透明性が保たれるようにご注意ください。
- 受講希望者に対しては、経歴書の内容を**熱意が感じられるよう記述**するよう指示してください。

平成31年度公認アスレティックトレーナー養成講習会 受講の流れ

1. 受講者の募集から決定まで

受講者の募集
・本会加盟団体 ・本会が特に認める国内統括競技団体 ※上記団体を通じて受講者を募集する。

受講希望者の審査
・各団体から推薦のあった受講希望者を、本会で審査し、受講者を内定(4月下旬) ・受講内定者へ「内定通知」と「受講の手引き」を送付

受講内定者の申込手続き
・受講内定者は「指導者マイページ」から受講申込手続きを行い(5月上旬～中旬申込締切)、受講料を納入(5月中旬入金締切)

受講者の決定
・本会から下記関係書類を送付(6月中旬) ・受講決定通知／受講者証／共通科目受講会場通知 ・テキスト・ワークブック(共通科目・専門科目)

2. 講習会受講・検定試験受験の流れ

受講有効期間(5年間)内に共通科目講習会・専門科目講習会をすべて受講し、共通科目検定試験および専門科目理論試験に合格しない場合は、受講者としての権利をすべて喪失することになります。
(共通科目、専門科目の順は問いません)

<共通科目>

①事前学習
・自宅学習の後、知識確認テスト(オンライン)

②集合講習会
・4日間 ・全国4地区10会場で開催 ・7月～11月

③事後学習
・課題レポート提出

<専門科目> ※1期→2期→3期→4期→5期の順で受講し、受験すること

① 専門科目1期講習会
・12.5時間、2日間(東京近郊) ・1会場で開催 ・平成30年11月(予定) ・1期講習会を受講しない場合は、2期講習会を受講できない。

② 専門科目2期講習会
・29.5時間、4日間(東京近郊) ・1会場で開催 ・平成31年1月～2月(予定) ・2期講習会を受講しない場合は、3期講習会を受講できない。

③ 専門科目3期講習会
・36時間、5日間(東京近郊) ・1会場で開催 ・平成31年5月～6月(予定) ・3期講習会を受講しない場合は、4期講習会を受講できない。

④ 専門科目4期講習会
・51時間、6日間(東京近郊) ・1会場で開催 ・平成31年8月～9月(予定) ・4期講習会を受講しない場合は、5期講習会を受講できない。 ※日本赤十字社「救急法救急員養成講習会」認定証取得者のみ受講できる

⑤ 専門科目5期講習会
・47.5時間、6日間(愛知県) ・1会場で開催 ・平成31年10～11月(予定) ・5期講習会を受講しない場合は、専門科目検定試験を受験できない。

<専門科目検定試験>

①理論試験
・平成31年11月上旬～下旬(予定) ・220問のマークシート式 ・全国6ヶ所を実施

※専門科目講習会をすべて受講したものが受験できる
※理論試験合格までの受講有効期間は5年間とする。

②実技試験
・平成32年2月上旬～3月下旬(予定) ・全国2地区で実施

※理論試験に合格しなければ実技試験を受験できない。
※受験料:32,400円(1回につき)
※実技試験の受験機会は受講有効期間に関わらず2回とする。

3. 検定試験結果通知から修了・登録まで

検定試験結果通知
・本会から各受講者に検定試験の結果を通知。 ただし、共通科目、専門科目いずれの検定試験も受験していない受講者には通知しない。

共通科目・専門科目修了者
・本会から登録手続きに関する資料等を送付

登録手続き
登録手続きおよび登録料(23,000円)の納入

登録認定
・本会から認定証、登録証を送付 ・登録は4年毎に更新 ※更新登録料20,000円 ※資格を更新するためには定められた義務研修およびOPR+AED講習を受講しなければならない

未修了者
・本会から検定試験の結果通知を送付 ・退試験の案内も同封

共通科目Ⅲ集合講習会 受講会場一覧

都市	会場番号	期 日	会場
東京	第 1 会場	7月26日(金) ～ 7月29日(月)	ベルサール神田 〒101-0053 東京都千代田区神田美土町7 Tel: 03-5281-3053
	第 2 会場	8月22日(木) ～ 8月25日(日)	KFCホール 〒136-0075 東京都墨田区横網1-6-1 Tel: 03-5610-5801
	第 3 会場	9月20日(金) ～ 9月23日(月・祝)	ベルサール神保町アネックス 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-36-1 Tel: 03-3346-1396
	第 4 会場	10月17日(木) ～ 10月20日(日)	ベルサール九段 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-10 Tel: 03-3261-5014
	第 5 会場 ※1	8月31日(土) ～ 9月1日(日) 9月7日(土) ～ 9月8日(日)	日本体育大学世田谷キャンパス 〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1 Tel: 03-5706-0900
名古屋	第 6 会場	11月8日(金) ～ 11月11日(月)	TKP名古屋駅前カンファレンスセンター 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅2-41-5 CK名駅前ビル Tel: 052-569-5020
大阪	第 7 会場	8月9日(金) ～ 8月12日(月・祝)	ホテルマイステイズ新大阪カンファレンスセンター 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-2-19 Tel: 06-6302-5571
	第8会場	10月18日(金) ～ 10月21日(月)	ホテルマイステイズ新大阪カンファレンスセンター 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-2-19 Tel: 06-6302-5571
福岡	第 9 会場	8月2日(金) ～ 8月5日(月)	TKPガーデンシティ博多新幹線口 〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街5-14 Tel: 092-432-7250
	第 10 会場	10月25日(金) ～ 10月28日(月)	TKPガーデンシティ博多新幹線口 〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街5-14 Tel: 092-432-7250

※ 第5会場「日本体育大学」については、開催期日が多少前後する可能性があります。
開催期日に変更が生じた場合は、変更時に第5会場(日本体育大学)にお申込みされている方にメールでその旨をご連絡いたします。

共通科目Ⅲ集合講習会 基本日程表(予定)

1日目	2日目	3日目	4日目
場作り (導入)	場作り (導入)	場作り (導入)	場作り (導入)
コーチングの課題を整理しよう	コーチングの環境を整えよう	年間計画を立ててみよう	様々なコーチング環境について考えてみよう
プレーヤーセンタードな コーチングを実践しよう	にとのつながりを最適化しよう	アウトカムベースの練習作りと 評価をしてみよう	コーチの資質・能力を まとめてみよう
昼食	昼食	昼食	昼食
コーチングにおける倫理的判断力を 高めよう	対人関係の問題解決法について 考えてみよう	スキル向上に焦点をあてた練習を 組み立てよう	コーチ自身の幸福について 考えてみよう
事故の予防と対処法について 考えよう	スポーツ科学を活用しよう	コーチングセッションの運営力を 高めよう	コーチ自身の成長の計画を 立ててみよう
		試合でベストパフォーマンスを 出すための準備をしよう	コーチング実践ポートフォリオをまと めよう
1日目の振り返り	2日目の振り返り	3日目の振り返り	4日目の振り返り